

一人一人の個性を輝かせ、主体的に学ぶ子供の育成 ～つながる 挑む 考動する～



河内小だより



三次市立河内小学校 令和6年12月号

今年も「しめ飾りづくり」に挑戦しました！

12月10日（火）、毎年恒例の「しめ飾り」づくりを行いました。教えてくださったのは、もちろん「河内老人クラブ」の皆さんです。今年で15回目だそうです！

しめ飾りに使う「わら」「稲穂」「うらじろ」「ゆずりは」等の材料は全てそろえて持って来てくださいました。「うらじろ」はめったに生息しておらず、寒い中山の中に入ってとってきてくださいました。これも子ども達のためだと・・・。

低学年はしめ縄にお飾りをつける作業を、中学年・高学年は藁を湿らせて縄をなうところから挑戦しました。普段縄をなうことがないので、お家の人や老人クラブの皆さんに教えていただきながら作りました。「しめ飾り」は日本に昔から伝わるお正月の飾りで「魔除け」の意味があるそうです。完成したしめ飾りを家の玄関に飾って、良い年を迎えたいですね。河内老人クラブの皆さん、保護者・地域の皆さんありがとうございました。



ミャンマーの子ども達と交流しよう！

東河内にお住いの小武正教さんが、毎年タイにあるミャンマーの難民キャンプに訪問されています。今年は11月に行われた「河内ふれ愛祭り」での児童の発表を見て、「ぜひミャンマーの子ども達に聞かせたい」と撮影された動画を、難民キャンプに持って行ってくださり、ミャンマーの子ども達に聞かせてくださいました。あわせて日本の四季の写真や、子ども達が「けん玉」「あやとり」「竹馬」で遊んでいるところの様子を写真にとって、メッセージと共に持って行っていただきました。

ミャンマーの子ども達は「翼をください」の動画をじっくりと見て、「自分たちも翼をくださいを歌いたい。」とみんなで練習をしてくれたようです。ミャンマーの子ども達が実際に歌っている様子もビデオに撮って持って帰ってくださいました。

次はミャンマーの子ども達から「ミャンマー語」の歌をぜひ歌って欲しいと紹介があり、来年は河内小の子ども達がミャンマーの歌を歌っているところを動画にとって持って行っていただくこととなりました。オンラインでつながることができればいいのですが、電波状況がよくなく、残念ですが、これからミャンマーの歌をみんなで練習していこうと思っています。



ミャンマーの子ども達の学校かばんだそうです。



【 中国新聞に掲載 文化ひろば「こども俳句」みんなの広場 】

お姉ちゃんのおみやげまよう 宮島で

(2年 田上 琴葉) 12月5日版

【 令和6年度 環境と健康のポスター・標語コンクール 】

標語の部 入選 5年 藤越 琥太郎

【 第92回 全国書画展覧会 】

金賞 3年 木村 悠人

銀賞 3年 升森 健太 4年 余平 樹



今日で2学期を無事終わることができました。子ども達が元気にそして楽しく毎日過ごせるようにと、たくさんの保護者や地域の方々にあたたかく支えていただきました。おかげで、一人一人が元気に目標に向かって大きく成長できた2学期でした。ありがとうございました。

明日から冬休みに入ります。年末年始ならではの経験をたくさんして、1月7日の始業式には元気な15人の子ども達に会えるのを楽しみにしています。皆様どうぞよいお年をお迎えください。

